

# 令和4年度学校自己評価システムシート (県立羽生第一高等学校)

目指す学校像	地域の期待に応えるため「自主・自律 求めて強き風に立つ」の精神のもと、積極的に課題解決に挑戦する生徒を育成する。
--------	--

重点目標	1 基礎学力に裏打ちされた学力向上の結果、高いレベルの進路実現を図る。 2 保護者と連携して、地域の模範となるような規範意識を醸成する。 3 活気に満ちた生徒の姿と特色ある教育活動を発信し、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	9名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	(現状) 生徒の進路希望では、大学から専門学校、就職と多岐にわたる。朝読書や新聞活用等の取組みにより、生徒の達成感が向上しつつある。また、本年度から年次進行で新学習指導要領が実施され、さらにICT環境の整備とその活用が求められている。  (課題) 生徒の家庭学習の定着が必要である。高い目標の設定と進路実現に向けた、主体的な姿勢の育成が必要である。 また、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善と観点別評価の実施に向けた共通理解を深め、生徒の進路実現つなげていく必要がある。	<b>①自学自習に向けた生活習慣の確立と学力向上を実現する。</b>  <b>②新学習指導要領に向けた授業改善を行う。</b>	①「朝読書」の推進し、効果のあるものとする。 ①総合的な探究(総探)指導の一環として、新聞活用指導を実施し、社会への興味関心につなげる。 ①一高手帳を活用した時間管理を推進する。  ②教員の学び合いにより、授業力向上につなげる。 ②新学習指導要領を意識し、観点別評価の研究を行う。	①生徒アンケートで、朝読書が活用できたと回答した生徒の割合8割以上あったか。 ①組織的な指導の実施(総探)と、指導によって視野が広がったとアンケートに回答した生徒の割合7割以上あったか。 ②校内ICT環境の十分な活用を進め、教職員のスキルアップにつなげることができたか。 ②観点別評価の共通理解と評価による指導の改善につなげることができたか。 (②教員アンケートにより肯定的な自己評価が割合7割以上回答があったか。)	生徒及び教員アンケートによる状況分析による。  ①朝読書を十分に活用している生徒の割合が92.7% ①NIE、総合的な探究の時間を通して、社会的な視野が広がったと回答した生徒の割合がそれぞれ65.3%、77.4% ②ICT 機器を活用した研究に努めた教員の割合が89.5% ②観点別評価の理解と指導法に工夫をしている教員の割合が68.4%	B	落ち着いた環境下で学習に取り組んでいるが、家庭学習の定着は十分とは言えない。安全志向による推薦入試による大学進学、専門学校への希望が増加傾向にある。日頃から主体的な学びにつなげるための教員の授業研究は評価に値するが、タブレット導入による効果的な活用と授業改善に向けた研究を組織的に取り組んでいく方針である。
		<b>組織的な進路指導の取組と持続した高い志を育成する。</b>	○学びの基礎診断や模試の分析をもとに指導方法の工夫・改善を行うとともに、個々に応じた進路指導を行う。 ○進路行事のさらなる充実と適時適切な情報提供を行う。 ○進路指導における指導の共通理解と取組を実施する。	○生徒アンケートで進路指導への満足度7割以上あったか。 ○生徒アンケートで進路の情報提供が適切だと回答した生徒の割合7割以上回答があったか。 ○生徒の実態に適した進路行事の充実と個に応じた進路選択を支援できたか。(教員アンケートにより肯定的な意見が7割以上があったか。)	○進路指導に対する生徒との満足度は87.4% ○進路情報が適切と回答した生徒の割合が88.2%  ○進路指導において適切な指導ができたと回答した教員の割合が89.6%	A	進路指導においても生徒の満足度は高い。適切な情報提供と個に応じたきめ細かな指導を実施している。保護者の進路に対する関心や期待は高い。適切な情報提供を進め、生徒の自己実現につなげていきたい。
2	(現状) 真面目で落ち着いた生徒が多い。一方で、主体的な課題解決に向けた行動力が弱い。  (課題) 学習と部活動の両立に向けた指導の徹底、自己肯定感の向上及び自らを律する姿勢の育成を強化する必要がある。	<b>「一高基準の規範意識」を身近なものとして置き、日頃から一高生としての自覚と誇りを育てる。</b>	○整容指導・挨拶指導を全教職員であたり、一高基準の規範意識を向上させる。 ○整理・整頓・掃除の徹底により、学習にふさわしい教室環境を整備する。 ○一高手帳を十分に活用し、自己管理能力を高める。	○一高基準を遵守できたと回答する生徒の割合が、昨年度と比較して上回ることができたか。 ○清掃等を通して学習環境の意識と協調性を高めることができたか。 ○キャリアパスポートを意識した一高手帳の活用指導に取組み、生徒が有効に活用することができたか。(生徒アンケートにより上記内容の回答が7割以上があったか。)	○一高基準を遵守した生徒の割合97.2%。昨年度95.7%を上回った。 ○自主的に学習環境の整備を行った生徒の割合が93.5% ○一高手帳の十分に活用した生徒の割合が39.7%	B	多くの生徒は一高基準を意識した行動ができている。一方、挨拶は教職員が範を示し継続的に指導していく必要がある。また、一高手帳の活用は十分とは言えず、指導方法に工夫をしていきたい。次年度以降はタブレット導入に伴い、一高手帳の活用について協議していく。
		<b>保護者・地域連携を強化し、魅力ある教育活動の情報発信を確実に実施する。</b>	○HP更新(行事・部活動・特色ある授業等)を積極的に更新する。 ○「一高だより」(紙ベース)の発行および配布し、教育活動の一層の理解を求める。 ○地域連携や異校種交流を計画的に進め、学校理解につなげる。	○新入生アンケートを実施し、実態把握と生徒募集に向けた戦略を講じることができたか。 ○HP更新が定期的に行われたか。 ○「一高だより」を月1回程度発行できたか。 ○学校説明会でのアンケートの実施と、ニーズに合った情報提供ができたか。	○新入生の実態把握により、中学校及び学習塾へ情報提供を実施した。 ○HP更新を年6回以上実施した教員の割合が47.4% ○「一高だより」発行9号(1月末現在) ○学校説明会後のアンケート分析による情報提供を実施できた。	B	生徒の活躍による学校説明会を実施した。引き続き学校全体で説明会のみならず、生徒募集に係る教育活動の工夫をしてきたい。また、学校の教育活動の見える化を推進し、本校の魅力発信に努めていく必要がある。
3	(現状) HP、学校だより等の発行など広報活動に力をいれているが、生徒募集に苦戦している。  (課題) 更に広報活動の方法に工夫し、より効果的な情報発信を実施し、生徒募集につなげていく必要がある。	<b>保護者・地域連携を強化し、魅力ある教育活動の情報発信を確実に実施する。</b>	○HP更新(行事・部活動・特色ある授業等)を積極的に更新する。 ○「一高だより」(紙ベース)の発行および配布し、教育活動の一層の理解を求める。 ○地域連携や異校種交流を計画的に進め、学校理解につなげる。	○新入生アンケートを実施し、実態把握と生徒募集に向けた戦略を講じることができたか。 ○HP更新が定期的に行われたか。 ○「一高だより」を月1回程度発行できたか。 ○学校説明会でのアンケートの実施と、ニーズに合った情報提供ができたか。	○新入生の実態把握により、中学校及び学習塾へ情報提供を実施した。 ○HP更新を年6回以上実施した教員の割合が47.4% ○「一高だより」発行9号(1月末現在) ○学校説明会後のアンケート分析による情報提供を実施できた。	B	生徒の活躍による学校説明会を実施した。引き続き学校全体で説明会のみならず、生徒募集に係る教育活動の工夫をしてきたい。また、学校の教育活動の見える化を推進し、本校の魅力発信に努めていく必要がある。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和5年2月7日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から交通マナーがとても良い。授業の様子も落ち着いており、真剣に取り組む様子が見られた。</li> <li>・「進路指導部通信」の内容が充実している。生徒の進路が多様化する中で、先生方の生徒に応じた丁寧且つきめ細やかな指導は素晴らしい。引き続き生徒の進路実現、成長のために頑張ってください。</li> <li>・18歳成人に向けた指導は必須である。社会的自立をするための支援と指導を計画的にお願いしたい。</li> <li>・コロナ禍であっても生徒の前向きな姿勢と真剣に取り組む姿に感心している。今後も生徒と先生方が協力して、一高の伝統を支えて欲しい。</li> <li>・保護者宛文書等が確実に届くシステムの構築をお願いしたい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のアンケート結果において、多くの質問項目が高水準であるのに対し、本校の特色である「一高手帳」の活用が充分でないことは残念である。手帳の工夫や見直し、活用のための指導に工夫をして欲しい。</li> <li>・ネット社会では、情報収集の最初の手段はHPからである。HP更新については、担当を決めると良いのではないかな。</li> <li>・引き続き本校の魅力を積極的に発信して欲しい。そのための工夫を先生方でアイデアを出し合い取り組むと良いのではないかな。</li> </ul>	

